ISEコマンドラインインターフェイス(CLI)のパ スワード回復の実行

内容	
<u>はじめに</u>	
前提条件	
<u>要件</u>	
<u>使用するコンポーネント</u>	
<u>パスワード回復手順</u>	
<u>ISE 仮想マシンのパスワード回復</u>	
<u>SNS-36XXシリーズアプライアンスのパスワード回復</u>	
<u>CIMCを使用したパスワード回復</u>	
<u>ブート可能なUSBを使用したパスワード回復</u>	
追加コンテンツ	
ISE GULのパスワード回復メカニズム	

はじめに

このドキュメントでは、Identity Services Engine(ISE)のCLIおよびGUIのパスワード回復について、アプライアンスのタイプに応じて異なるメカニズムを説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ISE の基本知識
- ・ Cisco Integrated Management Controller の基本知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるもの ではありません。

- ESXi 5.x(5.1 U2 以上)の ISE 仮想マシン(VMware バージョン 8(デフォルト))
- ISE 3500 シリーズ アプライアンス(ISE-3515-K9/ ISE-3595-K9)
- SNS-3600 シリーズ アプライアンス (SNS-3615-K9/SNS-3655-K9/SNS-3695-K9)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

パスワード回復手順

ISE 仮想マシンのパスワード回復

ステップ1:シスコのソフトウェアダウンロードサイトから環境で実行されている現在のISEバ ージョンのISOファイルをダウンロードし、仮想マシンデータストアにアップロードします。

ステップ2: ISE仮想マシンの電源をオフにします。

ステップ3: リストか ISE VM ら右クリックして、Edit Settingsを選択します。

		buildle had options:			
ItePCs				Compatibility: VMware Tools: DNS Name: IP Addresses:	ESXi 5.0 and later Not running, versio
hitte				Host:	
an an	6	Actions -		A 🗔	
sn_	2	Open Console	-1		
	D	Power On	0		
1		Shut Down Guest OS	O		
a	G	Restart Guest OS	0	2 CPU(s), 0 MHz used	
ER		Migrate	O		4
1	10	Take Snapshot	O	4096 MB, 0 MB use	a
n	-	Revert to Latest Snapshot		100 GB	
ecu	()	Manage Snapshots	- 1		(connected)
	ga.	Clone to Virtual Machine	0.	Connected	
d v	\$°	Clone to Template	- 1	Connected	P *
	i	Edit Settings		4 MB	

ステップ 4:ダイアログボックスで Virtual Hardware > CD/DVDに移動し、データストア ISO ファイルの下にあるISEバージョン ISOを参照します。

 TMPL_01 bgl-vaas-06:datastore1 GEN_20 GEN_21 GEN_22 GEN_23 	 ise bundle ise-1.1.3.124.i386.iso 20130528-084508_slave ise-1.1.4.218.i386.iso ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 	Name: Modified:	ISE 5/07/20 9:20 PM
 bgl-vaas-06:datastore1 GEN_20 GEN_21 GEN_22 GEN_23 	 ise-1.1.3.124.i386.iso 20130528-084508_slave ise-1.1.4.218.i386.iso ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 	Modified:	5/07/20 9:20 PM
GEN_20 GEN_21 GEN_22 GEN_22 GEN_23	 20130528-084508_slave ise-1.1.4.218.i386.iso ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 ise-2.1.0.381.SPA_x86_6 		
GEN_21 GEN_22 GEN_23	ise-1.1.4.218.i386.iso ise-2.1.0.381.SPA_x86_6		
GEN_22	ise-2.1.0.381.SPA.x86_6		
GEN_23	A les 1 2 0 747 v00 04 les		
	ISE-1.3.0.747.X60_64.ISO		
GEN_24	ise-2.1.0.426.NOT_FOR		
▶ 📑 ISO_01	ise-1.1.2.145.i386.iso		
Implementation in the second secon	ise-1.0.4.573.i386(2).iso		
	🚡 ise-2.7.0.356.SPA.x86		
	md5sum.exe		
	2.1.0.381_MD5.txt		
	BIGIP-11.3.0.39.0-scsi.ova		
	ADEOS-RESCUE-0.6.iso		
	L		
	ise-1.3.0.876.x86_64.iso		
	ise-1.3.0.876.x86_64.iso		
	2.1.0.381_MD5.txt BIGIP-11.3.0.39.0-scsi.ova ADEOS-RESCUE-0.6.iso		

ステップ 5:図に示すよう Connect At PowerOn にクリックします。

Virtual Hardware VM Opt	ions	SDRS Rules	vApp C	Options				
CPU	2		-	0				
Memory		4096		MB	-			
Hard disk 1	10	0	A Y	GB	-			
SCSI controller 0	LS	Logic Parallel						
Network adapter 1	VLAN-77 10.106.73.65				-	Connected		
- CD/DVD drive 1	Da	atastore ISO File	9	Connected				
Status [Connect At Power On							
CD/DVD Media	[IS	0_01] GEN/ISE	/ise-2.7.	e				
Device Mode	Emulate CDROM				-			
Virtual Device Node	IDE(0:0) CD/DVD drive 1				+			
Video card	Specify custom settings				-			
WMCI device								

手順 6: 「 Options > Boot options」に移動し、次の図に示すよう Force BIOS Setup にオプションを有効にし、をクリックして続行 OK します。

Virtual Hardware VM Options	SDRS Rules	vApp Options				
 General Options 	VM Name:	VM_Test				
VMware Remote Console Options	Lock the guest operating system when the last remote user disconnects					
VMware Tools	Expand for VMware Tools settings					
Power management	Expand for power management settings					
✓ *Boot Options						
Firmware	Choose which firmware should be used to boot the virtual machine:					
	BIOS					
Boot Delay	Whenever order for:	Whenever the virtual machine is powered on or reset, delay the book order for:				
Force BIOS setup (*)	The nex setup setu	t time the virtual machine boots, force entry into the BIOS creen				
Failed Boot Recovery	When the virtual machine fails to find a boot device, automatically retry boot after:					

手順7: ISE VMの電源をオンにし、VMコンソールでBIOSプロンプトを監視します。

ステップ 8: CD-ROM Drive のブート順序を変更して、それを最初の位置に移動します。

Ma i	in f	Idvanc	ed	Pho Secu	enixBIOS rity	Setup Boot	Utility Exit	
	CD-ROM	Drive						Item Specific Help
	Removat Hard Dr Networ	ole De ive boot	vices from	Intel	E1000			Keys used to view or configure devices: <enter> expands or collapses devices with a + or - <ctrl+enter> expands all <+> and <-> moves the device up or down. <n> May move removable device between Hard Disk or Removable Disk <d> Remove a device that is not installed.</d></n></ctrl+enter></enter>
F1 Esc	Help Exit	t∔ S ⇔ S	elect elect	Item Menu	-/+ Enter	Change Select	e Values : ► Sub-P	F9 Setup Defaults Menu F10 Save and Exit

Cisco ISEは、次のVMwareサーバおよびクライアントをサポートします。

•

•

ESXi 5.x(5.1 U2 以上)の VMware バージョン 8(デフォルト)がバージョン 9 以降でサポートされます。RHEL 7 は、 VMware のハードウェア バージョン 9 以降でサポートされます。

ESXi 6.x の VMware バージョン 11 (デフォルト)

ステップ 9: Enter ボタンを押して、新しいブート順序設定を保存し、BIOSコンフィギュレーションモードを終了します。ISE Installerページからオプション3を選択して、 System Utilities (Keyboard/Monitor)を起動します。 Welcome to the Cisco Identity Services Engine Installer Cisco ISE Version: 2.7.0.356 Available boot options: [1] Cisco ISE Installation (Keyboard/Monitor) [2] Cisco ISE Installation (Serial Console) [3] System Utilities (Reyboard/Monitor) [4] System Utilities (Serial Console) <Enter> Boot existing OS from hard disk. Enter boot option and press <Enter>. boot: _

ステップ **10**:オプション1を System Utilities から選択して、管理者パスワードを回復します。オプション [1] では、ISE デバイス で設定された管理者アカウントのリストが表示されます。

Available System Utilities: [1] Recover Administrator Password [2] Virtual Machine Resource Check [3] Perform System Erase [q] Quit and reload Enter option [1 - 3] q to Quit: _

ステップ 11 ユーザ名にオプション1を選択 admin し、新しいパスワードを入力します。yを入力して新しいパスワードを保存し、ペー System Utilities ジに進みます。

Admin Password Recovery	
This utility will reset the password for the specified ADE-OS administ At most the first five administrators will be listed. To abort without saving changes, enter [q] to Quit and return to utilities menu	rator
Admin Usernames :	
[1] admin	
ter choice [1] or q to Quit : 1 Password: Verify password:	
Save changes and exit? [y/n]: y	

qと入力してペー System Utilities ジを終了します。



ステップ 12 現在のハードディスクからISEを起動するには、 Enter をクリックします。

ステップ **13: (任意)**。パスワード回復が成功した後の最初のオプションとして、ハードドライブでブート順序を復元するため に、ステップ 6 ~ 8 を実行します。この手順は、ISE VMをリブートするたびにadmin password recoveryプロンプトを入力する必要 ◆ 注:上記の手順を実行した後も新しいパスワードが機能しない場合は、15 ~ 30分待ってからISE CLIにサインインしてく ださい。

SNS-36XXシリーズアプライアンスのパスワード回復

ISEをサポートするSNS 3600シリーズアプライアンスには、次の3つのタイプがあります。

- SNS-3615
- SNS-3655
- SNS-3695

SNS 3600 シリーズ アプライアンスでパスワードを回復する方法は2つあります。

- Cisco Integrated Management Controller(CIMC)を使用したパスワード回復
- ブート可能なUSBを使用したパスワード回復

CIMCを使用したパスワード回復

このパスワード回復方法では、36XX シリーズ ハードウェアで CIMC を設定する必要があります。CIMC設定手順の詳細について は、『<u>Cisco IMCコンフィギュレーションユーティリティによるシステムの設定</u>』を参照してください。

CIMC 接続を使用して、Cisco SNS-35XX および SNS-36XX アプライアンスを管理します。CIMC 接続を使用した KVM ユーティリ ティは、Cisco SNS-35XX または Cisco SNS-36XX アプライアンスでの BIOS 設定を含むすべての操作の実行に使用できます。

ステップ 1:NIC Mode設定で選択したポートを使用して、LANからサーバにイーサネットケーブルを接続します。Active-active および Active-passive の NIC 冗長化設定では、2 つのポートに接続する必要があります。詳細については、CIMC 設定ガイドを参照してください。

ステップ **2**:ブラウザとCIMCのIPアドレスを使用して、CIMCセットアップユーティリティにログインします。IP アドレスは、 CIMC 設定のステップで設定した内容(静的アドレスまたは DHCP サーバーによって割り当てられたアドレス)に基づいています

注:サーバのデフォルトのユーザ名はadminです。デフォルトのパスワードは password です。

ステップ3:ユーザ名とパスワードを入力して、CIMCポータルにログインします。

ステップ 4: をクリックします。 Launch KVM Console

ステップ 5: タ Virtual Media ブをクリックします。

手順 6: クライアントブラウザを実行しているシステムから現在のISEバージョンのISOをクリックして選択するには、 Create Image をクリックします。

手順 7: 作成した仮想CD/DVDドライブに対してこのチ Mapped エックボックスをオンにします。

ステップ8: Macros > Ctrl-Alt-Delを選択し、ISOイメージを使用してCisco SNS-35XXまたはCisco SNS-36XXアプライアンスを 起動します。

ステップ9: F6キーを押してブートメニューを表示します。次の画像のような画面が表示されます。

Please select boot device:	
(Bus 82 Dev 00)PCI RAID Adapter Cisco Virtual CD/DVD 1.22 Cisco Virtual FDD/HDD 1.22 Cisco Virtual Floppy 1.22 IBA GE Slot 0300 v1382 IBA GE Slot 0301 v1382 UEFI: Built-in EFI Shell Enter Setup	
↑ and ↓ to move selection ENTER to select boot device ESC to boot using defaults	

ステップ 10: マップされているCD/DVDを選択し、 Enterを押します。すると、次のメッセージが表示されます。

Welcome to the Cisco ISE 2.x Recovery Available boot options:

[1] Cisco Secure ISE Installation (Keyboard/Monitor) [2] Cisco Secure ISE Installation (Serial Console) [3] System Utilities (Keyboard/Monitor

[4] System Utilities (Serial Console)

<Enter> Boot existing OS from hard disk. Enter boot option and press <Enter> boot:

ステップ **11**オプション3またはオプション4を選択します(アプライアンスに接続されているキーボードとビデオ・モニターの場 合は3を入力し、ローカル・シリアル・コンソール・ポートを介してアクセスする場合は4を入力します)。

Welcome to the Cisco Identity Services Engine Installer Cisco ISE Version: 2.7.0.356

Available boot options:

[1] Cisco ISE Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Cisco ISE Installation (Serial Console)
[3] System Utilities (Keyboard/Monitor)
[4] System Utilities (Serial Console)
<Enter> Boot existing OS from hard disk.

Enter boot option and press <Enter>.

boot: _

次の画面でオプション [1] を選択して続行します。



ステップ12リストから必要なユーザ名を選択し、Enterキーを押してパスワードをリセットします。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

ブート可能なUSBを使用したパスワード回復

始める前に:ブータブルUSBドライブを作成します。「<u>Cisco ISEをインストールするためのブート可能なUSBデバイスの作成</u>」を 参照してください。

ステップ1: Cisco SNS-35XXまたはCisco SNS-36XXアプライアンスの電源をオンにします。

ステップ **2**:ブート可能なCisco Secure ISE ISOイメージが格納されているブート可能なUSBドライブをUSBポートにプラグインします。

ステップ 3: SNS-35XXアプライアンスを再起動し、コンソールのBIOSモードに移動します。

ステップ4: BIOSモードで、USBからのブートを選択します。

ステップ5: BIOSモードを終了し、Saveをクリックします。

ステップ6:ISEアプライアンスを再起動し、USBから起動します。

すると、次のメッセージが表示されます。

Welcome to the Cisco ISE 2.x Recovery To boot from hard disk press <Enter> Available boot options: [1] Cisco Secure ISE Installation (Keyboard/Monitor

手順 7:オプション3またはオプション4を選択します(キーボードとビデオモニタを介して接続している場合は3を、ローカルシ リアルコンソールポート接続の場合は4を入力します)。

Welcome to the Cisco Identity Services Engine Installer Cisco ISE Version: 2.7.0.356

Available boot options:

[1] Cisco ISE Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Cisco ISE Installation (Serial Console)
[3] System Utilities (Keyboard/Monitor)
[4] System Utilities (Serial Console)
<Enter> Boot existing OS from hard disk.

Enter boot option and press <Enter>.

boot: _

Available System Utilities: [1] Recover Administrator Password [2] Virtual Machine Resource Check [3] Perform System Erase [q] Quit and reload Enter option [1 - 3] q to Quit: _

ステップ9:リストから正しいユーザ名を選択し、Enterキーを押してパスワードをリセットします。

Admin username: [1]:admin [2]:admin2 [3]:admin3 [4]:admin4 Enter number of admin for password recovery: 2 Password: Verify password: Save change

追加コンテンツ

ISE GUI のパスワード回復メカニズム

ステップ1:コンソールにログインするには、CLI管理者アカウントを使用します。

◆ 注:コンソール管理者アカウントは、Web UI管理者アカウントとは異なることに注意してください。ユーザ名は同じでも 、パスワードが異なる可能性があります。

ステップ **2**:コマンドプロンプトから、application reset-passwd ise admin コマンドを使用して、新しいWeb UI管理パスワードを 設定します。

ステップ3:パスワードをリセットするためのプロンプトが次の図のように表示されます。

ISE-2-0/admin# application reset-passwd ise admin Enter new password: Confirm new password:

Password reset successfully. ISE-2-0/admin#

ステップ4:必要に応じて新しいパスワードを入力します。

ステップ5:新しいパスワードが機能していることを確認するには、新しいパスワードを使用してGUIにログインします。



翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。